

事業番号	事務事業名	地域包括支援センター事業費	所管課名	保健福祉課	令和 2 年度課長名	水島 剛
01670	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	介護保険係	担当者・シート作成者
	施策名	14	高齢者福祉の推進	根拠法令等		井手 俊文

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	指定介護予防支援事業負担金 指定介護予防支援事業に係る費用と、事業収入の差額について、年度末に社協から実績による負担金請求書が提出され、町が負担金を支出する。	地域包括支援センター業務を平成20年10月から鏡野町社会福祉協議会に委託し、同時に指定介護予防支援事業所に指定したことから開始した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 要支援認定者	ア 要支援認定者数	人	見込 実績	196 212	212 230	189 231	166	143
イ 事業対象者	イ 事業対象者数	人	見込 実績	109 114	109 104	109 102	109	109
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 適切な介護サービスが利用できるようにする	ア 介護予防サービス計画作成件数	件	目標 実績 達成率	1,152 1,340 116.3%	1,128 1,397 123.8%	1,128 1,183 104.9%	1,128	1,128 104.9%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 郵送代・清掃委託料・負担金の支払	ア 郵送代・清掃委託料・負担金の支払回数	回	目標 実績 達成率	13 13 100.0%	13 13 100.0%	13 12 92.3%	12	12 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 03 民生費	項 01 社会福祉費	目 04 老人福祉費	大事業 中事業 20 01	予算上の事業名 地域包括支援センター事業費	事業番号 01670										
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財							その他特財										
一般財源	12,281	12,302	19,792	19,792	19,792	7,490	一般財源	11,510	12,246	19,768	19,792	19,792	7,522				
合計	12,281	12,302	19,792	19,792	19,792	7,490	合計(A)	11,510	12,246	19,768	19,792	19,792	7,522				
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1					
	延べ業務事務時間						10	10	10	10	10	10					
	人件費計(千円)(B)						34	35	33	34	34	34	-2				
	最終予算額 19,792 千円		予算執行率	99.8%		トータルコスト(A+B)	11,544	12,281	19,802	19,826	19,826	7,521					
主な支出事業内容(予算)	通信運搬費						24 千円		主な支出事業内容(決算)	通信運搬費						0 千円	
	負担金						19,768 千円			負担金						19,768 千円	

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
地域包括支援センターは、地域包括ケアシステムにおける中核的な機関として期待され、機能強化が求められている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士の三職種のほか、介護支援専門員を増員し、理学療法士、生活支援コーディネーターを配置し、各年度における事業の評価を実施している。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
適切なケアプラン等により、介護予防に力を入れてほしい。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	地域包括支援センターは、市町村の指定をうけて、指定介護予防支援事業者として要支援者を対象とする予防給付のケアマネジメント(介護予防支援)を行うものであり、政策体系に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	指定介護予防支援事業者は、地域包括支援センターの設置者の申請により市町村が指定することになっており、またその運営に係る適切な人員体制をとるためにも、町の関与は妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	介護保険法の規定に基づくものであり、適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	地域包括ケアシステムなどの体制づくりや機能強化のために、介護支援専門員のスキルアップ、事業方法の見直しなどにより、介護予防の成果の向上が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	指定介護予防支援事業の適切な運営に必要な人員体制を取るために必要な事業であり、廃止・休止はできない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	介護予防支援事業に対して町が適切に関与し、介護支援専門員の資質を向上することで成果の向上が期待できる。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	指定介護予防支援事業負担金は、地域包括支援センターの業務のうち、介護予防支援業務に係る人件費と事業費から当該業務でセンターが受け取る介護給付費等の収入を差し引いた金額を当該年度の実績で支出するものであり、必要最小限のものとなり削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	この事業における保健福祉課職員の業務は、予算計上と負担金支出だけであり、業務時間の削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	この事業は、町内の全要支援認定者、事業対象者が対象であり、公平・公正となっている。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	地域包括ケアシステムなどの体制づくりや機能強化のために、介護支援専門員のスキルアップ、事業方法の見直しなどにより、介護予防の成果の向上が期待できる。介護予防支援事業に対して町が適切に関与し、介護支援専門員の資質を向上することで成果の向上が期待できる。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 町が適切に関与し、介護支援専門員の資質向上に努める。 地域包括ケアシステムの構築ため、専門職のスキルアップに努める。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下				
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
低下																									
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									

(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)